

マタイの福音書
聖書講解シリーズ
16) 姦淫について
マタイ 5:27-30
2019.5.26 HKJCF

1

概観

殺人と怒りの関係から、姦淫と情欲の関係を理解し、心の内面の罪に焦点を当て、聖い生活をする大切さを学ぼう。

アウトライン

- | | |
|----------|--------|
| 1. 姦淫の定義 | V27 |
| 2. 姦淫の原因 | V28 |
| 3. 姦淫の防止 | V29-30 |

2

1. 姦淫の定義 V27

- 1) 間違った定義：男尊女卑；男性の権利；結婚している女性との肉体関係。
- 2) 男性の優位性：男性有利の解釈；ペールを被る女性→男性の心の情欲。
- 3) イエス様の定義：配偶者に対する背信；行為だけでなく、心の中の情欲も含む。
- 4) 性=結婚の危機：親が子に命（人格）と性（結婚）の教育を伝授；夫婦関係＞親子関係。体と霊を傷つける罪（コリント 6:18-20）。

3

2. 姦淫の原因 V28

- 1) 満足しない心：第七戒と第十戒を違反；欲しがる、むさぼる心⇔与えられている立場に対する感謝の心。枠に対する理解と尊重。
- 2) 情欲を抱く：性的な対象として；自分のものにしたいたい思い。立場が与えられるまでの自制と忍耐→人格形成＞才能を伸ばす。
- 3) 女を見る：淫らな思いをもってじっと見る；想像の力（ポルノや雑誌を含む）；人格→物。神様に与えられた想像力の使い方。

4

3. 姦淫の防止 V29-30

- 1) つまづく：(σκανδαλίζω, skandalizó) = スキャンダルになる、信仰を無くさせるもの。
- 2) 自傷行為：「目をえぐり出す、手を切る」；右のほうが強い考え方；誇張法→盲人、手のない人のように「見ない、やらない」。
- 3) ゲヘナに投げ込まれる：罪に飲まれて、信仰を失う人生；罪に対する徹底的な扱い。
- 4) 神の創造、キリストの体の概念：人格の尊重；神の家族として相手と接する。

5

適用

- ① 聖い生活を歩めるように目指す：御国に集中する、神様を見る（マタイ 5:8）生活を目指す。
- ② 聖い心が造られるように求める：聖霊様の働きにゆだねて、聖めの作業に期待しよう（詩篇 51:10）。

6